

ひるがみ

第 74 号

平成30年8月5日

発行

障害者支援施設
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>

家族交流会



六月二十四日に家族交流会あじさい会が行われました。梅雨の時期でしたが天気も晴れて家族交流会日和でした。施設にいる利用者

さんは動物と触れ合う機会が無い為、少しでも関わる事が出来たらと考へ、猿回しを見て頂く事にしました。職員も利用者さんも猿回



モンタさんと記念撮影。楽しいひと時でした。

しを見るのは初めてでとてもワクワクしてました。輪をくぐったり、予想もしないぐらいい高く飛んだり、竹馬に乗ったりと皆お猿さんに釘付けでした。保護者の皆さん、利用者さん、職員もとても楽しむことが出来て、この企画は大成功だったと感じています。また、今年の昼食会はお寿司と汁物、バイキング形式で野菜の天ぷら、フ



可愛らしい姿からは想像できない迫力のある芸の数々でした。



揚げたての天ぷらは好評でした。

ルーツ、デザート、飲み物と自分の好きなだけおかわりが出来るようにしました。野菜の天ぷらは揚げたてでサクサクモチモチ、かき揚げは手が込んでいてとても美味しく好評でした。保護者の皆さんや利用者さんが満足できたあじさい会だったと思います。慣れない委員長をやらせて頂きましたが、周りの職員の協力があったからこそ無事に終えることが出来ました。ありがとうございます。(M・N)

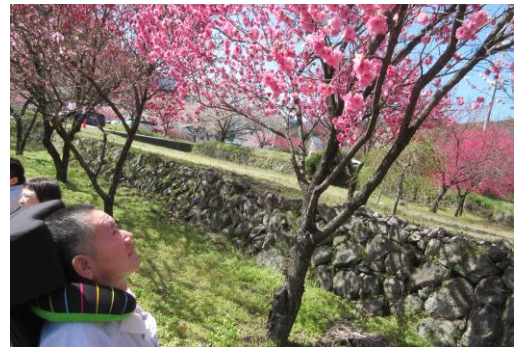


花桃の前で記念撮影。春の訪れを感じました。

四月十日、療護園の周辺でも花桃が次々と咲き始め、お天気もよく絶好のお出かけ日和となりましたので、みんな花桃を見に昼神散策に出かけました。赤、白、ピンクの三色の花が咲き誇る景色のグラデーションは圧巻



でした。長い冬の間、なかなか外出する事が出来なかった利用者さん達は、優しい日差しに目を細めながらも春の訪れを感じていたのではないのでしょうか。「きれいだね〜」「すごいね」「まぶしい」など様々な思いでお花見を楽しんでいました。みんな花桃を背に記念撮影をしてきました。次回は、みんな森林浴に出かけたいですね。(S・S)



飯田高校合唱班のみなさん

五月十二日



飯田高校合唱班の発表を見るのは二回目ですが、その歌声に圧倒されました。日々の班活動で培ってきたものが聴いている人の心に対して響いている証拠かなと感じました。歌を知っている利用者さんは高校生に合わせて歌い、歌うことが出来なくても懐かしそうに聴いている利用者さんがおり、普段あまり見せることのない表情や姿を見ることが出来ました。同時にそれを引き出すことが出来れば、利用者さんの新たな発見ができて日々の生活に活かせるのではないかと思いました。今回の発表会で改めて

(Y・U)



アンコールには当園の園歌を歌って下さいました。

平成三十年度年間行事計画

- 四月 開園記念日
 - 六月 家族交流会
 - 八月 花火見物
 - 十月 家族交流会
 - 十二月 忘年会
 - 一月 書き初め
 - 二月 節分
 - 三月 ひな祭り
- 彼岸慰霊祭

○毎月実施

利用者自治会

外出

レクリエーション

・流しそうめん

・夏祭り

・映画会

・放送

・ボランティアによる催し

○同好会

- ・カラオケ・朗読
- ・ものづくり・書道



浴室改修工事



あった為、大浴槽を埋め、そこへ昨年の国際福祉機器展で選定してきた酒井医療の「スーパードリバス」を設置しました。

利用者さんが高齢化と共に重度化してくる中で安全で快適な入浴ができるように、三月末から四月にかけて浴室改装工事が行われました。

既存の大浴槽では安全に入浴が出来る方が限られてきており、またリフトも劣化し途中で止まってしまう事も



ジャグジー機能もあり、皆さんとても気持ち良さそうです。

埋めるまで大浴槽に入っていて、慣れないシャワーバスでは「怖い」と入るのをためらう利用者さんも「(寝浴タイプの浴槽は)以前役場で使っているのを見たことあるから安心できる」「一番風呂だからテープカットするかな」と冗談を言い、気持ちにも余裕を持って入浴することが出来ました。これからも職員

の配置、入浴順の検討や浴室内の整備を行い、利用者さんが安心して入浴が出来る環境を整えていきたいと思えます。

(Y・K)

阿智中学校吹奏楽部演奏会

四月十四日



待ちに待った演奏会。一曲目RAINが流れると、日頃はベッド上で過ごしている利用者さんが、突如手拍子を始め表情が生き生きしてきました。アンコールを含め計八曲の演奏はあっという間でしたが、演奏中の利用者さん達の

中には涙を流した方、口ずさむ方、曲に合わせて体を動かす方など、とても感性豊かな方々であると感心し、また感情を引き出す音楽の力は凄いと思ったひと時でした。吹奏楽部の皆様ありがとうございました。(Y・U)



今年はJポップのメドレーや各パートの演奏など去年とはまた違った曲目でした。

介護員室だより

ある日、利用者Hさんが「何でこの手があるんだろうと思う」と話してくれました。

Hさんは生まれつきの障がいの手が変形しており自分で動かして使うことが出来ません。六十代後半のHさん

私は今まで何百回とそんなことを思いながら生きてきたのだろう。

私は突然そんな言葉を聴き、返す言葉に戸惑っている、「でも、お母さんに私を産んでくれたことを感謝している」とHさんは明るく付け加えました。私は

衝撃で何も言えません

でした。私だったら言えるだろうか・・・

療護園には様々な障がいを抱え、様々なバックグラウンドを持つ利用者さんが暮らしています。そんな利用者さんから聴く素直な言葉。そんな言葉に私はいつも支えられています。(M・T)

昨年度の事業報告

園長 福澤茂雄

昨年度の事業について簡単にお知らせします。

一・マンパワーの充実

看護師二名、事務職一名、介護二名を正規職で採用し、職員四十名体制でスタートした。私傷病で休職する者もなく安定して事業を行うことができた。

二・ノーリフトの定着を図る
通常のスライディングボード、リフトでは対応できない利用者の方のために、蛇腹付きスライディングボード、四支点アタッチメントとその専用シートを購入しノーリフトの定着を図った。

三・安全管理の見直し

ヒヤリハットのなかで朝食時の薬の飲み忘れが多かった為、防止のために朝礼引継ぎで看護師から飲み忘れがなかったか聞き取るようにし、意識の醸成と、介護看護の連携が図れるよう工夫した。また、ゼリー食の対応を増やし誤嚥の予防に努めた。更に、看護師にも食事介助に入ってもらい安全な食事に心掛けた。

四・勤務時間帯の変更

自力で食事ができる方が少なくなり、食事介助に時間を取られるようになったため、二月から勤務時間帯を変更した。



居室天井にサイクルファンを設置。今夏の猛暑に威力を発揮し、大変助かりました。

五・居室設備の充実

居室の天井吹き出し空調では、ベッドで寝ている利用者さんの顔に直接風が当たるためサイクルファンを居室及び職員室医務室に設置した他、感染予防用加湿器の設置及び、臭いの出ないポータブルトイレを購入した。

流しそうめん

七月四日、流しそうめんを開催致しました。



流れてきたそうめんをご自分ですくって食す方、職員がそうめんをすくってそれを食する方等様々いらっしゃいましたが、利用者さんが楽しんでる様子が伺えました。普段のそうめんを食すの味は変わらないと思いますが、その雰囲気・清涼感が美味しさを倍増させるのではないかと思います。うほどのとびきりの笑顔でした。(T・H)

現況報告

平成三十年

八月一日現在

利用者 四十八名

職員 四十四名

(非常勤職員を含む)

編集後記

先日開催された平成三十年大相撲名古屋場所では、見事御嶽海関が初優勝を飾りました。昨年当園を慰問して下さった英雄の快挙に利用者の皆さん大興奮。さらなるご活躍を期待したいですね。

また、西日本では七月に記録的な豪雨災害に見舞われました。当園は阿智川に面している為、特に有事に備えていきたいと思っております。

